

# S I D R

## (滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

# 〈月報〉

## 平成18年12月

### (第49～52週)

発行年月日：平成19年(2007年) 1月 18日  
 発行：滋賀県衛生科学センター内  
 滋賀県感染症情報センター  
 電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 18年		平成 17年		感染症 類型	疾 病 名	平成 18年		平成 17年	
		1～12月		1～12月				1～12月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	デング熱	0	57	1	73
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	45	0	62
	痘そう	0	0	0	0		日本脳炎	0	7	0	7
	ペスト	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0		ブルセラ症	0	5	0	2
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	
	コレラ	1	47	0	54	ボツリヌス症	0	2	0	3	
	細菌性赤痢	*16	483	*27	556	マラリア	0	61	0	66	
	ジフテリア	0	0	0	0	野兔病	0	0	0	0	
	腸チフス	0	72	0	50	ライム病	0	13	0	8	
	バラチフス	0	24	0	18	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	54	3,910	12	3,567	レジオネラ症	11	508	3	276	
四類	E型肝炎	2	70	0	40	レプトスピラ症	0	24	0	15	
	ウエストナイル熱	0	0	0	1	五類	アメーバ赤痢	8	738	5	680
	A型肝炎	21	316	1	168		ウイルス性肝炎	0	275	2	277
	エキノкокクス症	0	20	0	18		急性脳炎	1	160	2	180
	黄熱	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	14	0	9
	オウム病	0	22	1	34		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	177	2	147
	回帰熱	0	0	0	0		劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	6	107	0	60
	Q熱	0	2	0	8		後天性免疫不全症候群	8	1,301	7	1,161
	狂犬病	0	2	0	0		ジアルジア症	1	87	0	81
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	14	0	10
	コクシジオイデス症	0	2	0	5		先天性風疹症候群	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0		梅毒	4	625	0	555
	腎症候性出血熱	0	0	0	0		破傷風	1	115	0	114
	炭疽	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0
	つつが虫病	0	397	0	325		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	79	2	65

### 滋賀県における全数報告 感染症の概要(12月)

#### < 腸管出血性大腸菌感染症 >

散发事例：2名(患者)  
 性別 女性2名  
 血清型および毒素型

O157 VT1・VT2 1名  
 O157 VT1 1名

2名とも推定される感染経路は  
 経口感染、推定される感染地域  
 は日本国内です。年齢は3歳およ  
 び20歳です。

#### < 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 >

女性・80歳

推定される感染経路は創傷感染、  
 推定される感染地域は日本国内で  
 す。

#### < 破傷風 >

男性・79歳

推定される感染経路は創傷感染、  
 感染地域は日本国内です。

\*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含む、 \*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含む

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点に分かれています。

### 12月の概要

#### <インフルエンザ>

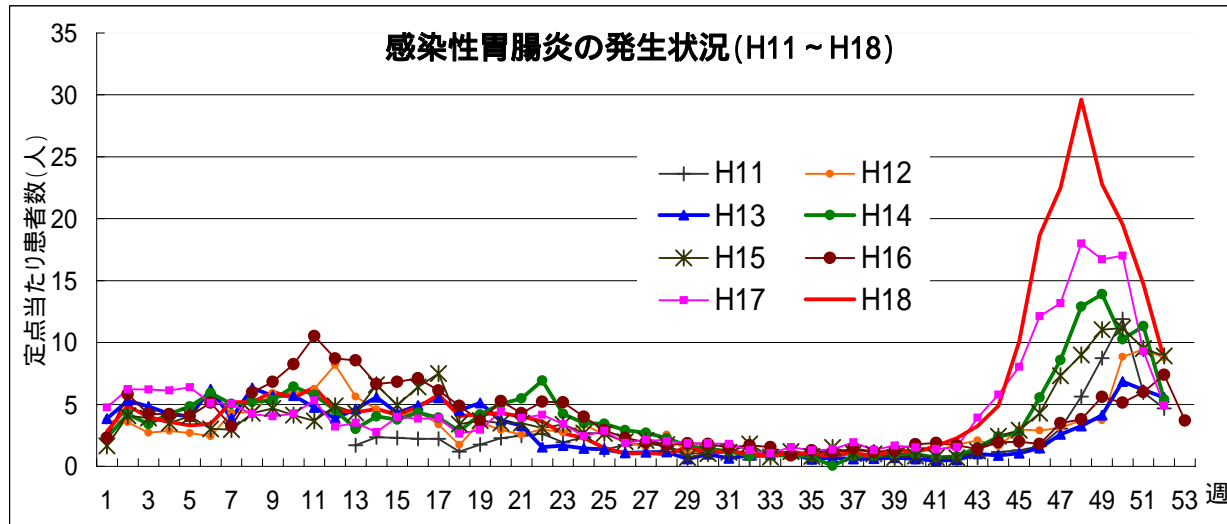
第49～52週(12/4～12/31)には大津および甲賀からの報告がやや多くなっていましたが、県全体としては今年の同時期よりかなり少ない状態でした。

#### <小児科定点疾患>

咽頭結膜熱、水痘、手足口病、マイコプラズマ肺炎およびRSウイルス感染症は先月より増加しました。その他の疾患については、先月より減少または横ばいとなっていました。感染性胃腸炎については、第49週以降、減少傾向となりましたが昨年同時期より多くなっており、第47週(11/20～11/26)以降、県内全域に発令されていた感染性胃腸炎の警報は、第52週まで継続して出されました。H11～18年の感染性胃腸炎の発生状況は下記のグラフに示すとおりです。百日咳は第49週に東近江から、第52週に大津から報告されていました。

#### <眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月とほぼ同様の発生状況で、彦根および長浜保健所管内からの報告がありました。基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は甲賀および長浜保健所管内からの報告がやや多くなっていました。



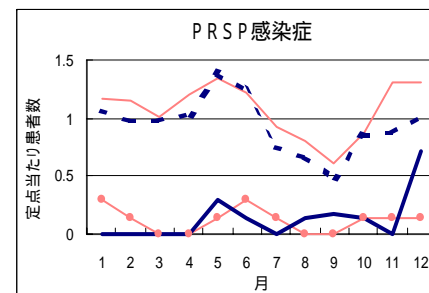
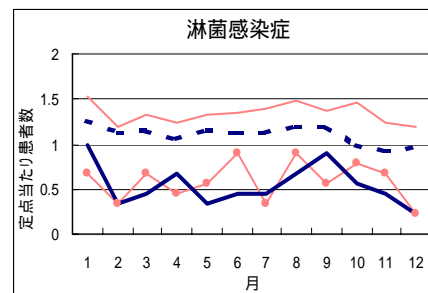
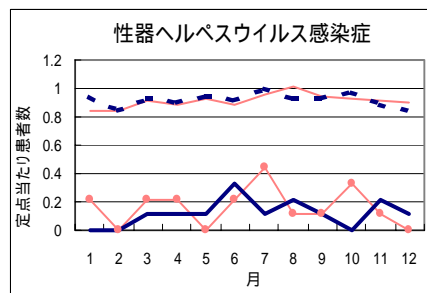
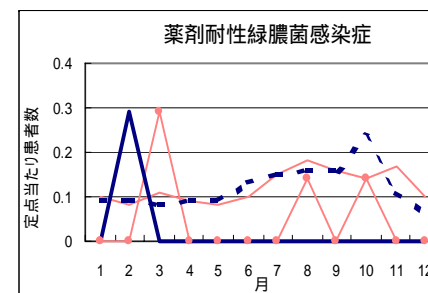
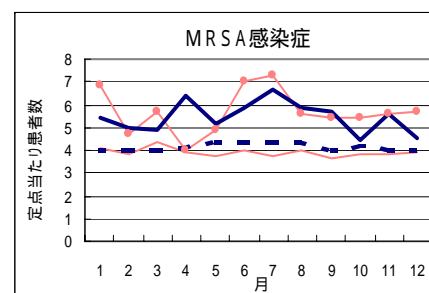
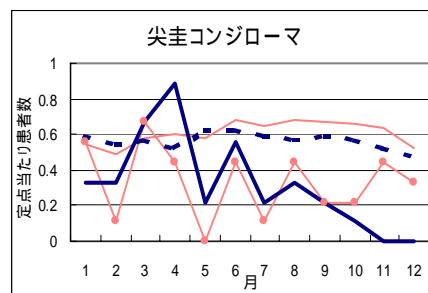
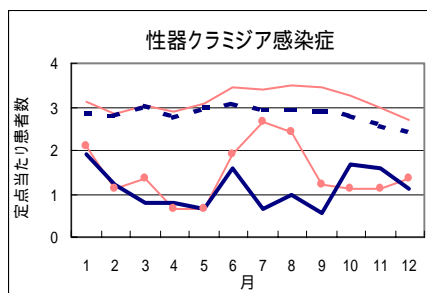
#### <各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

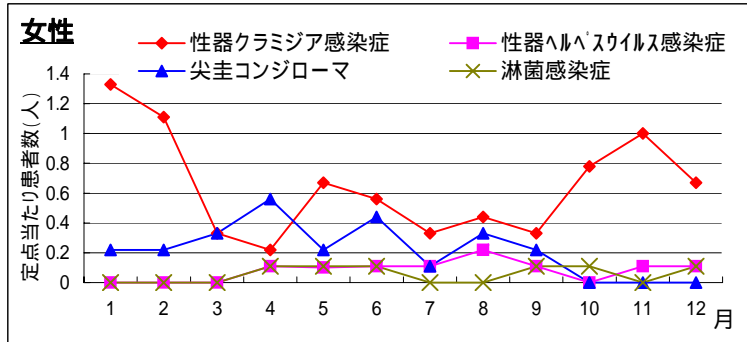
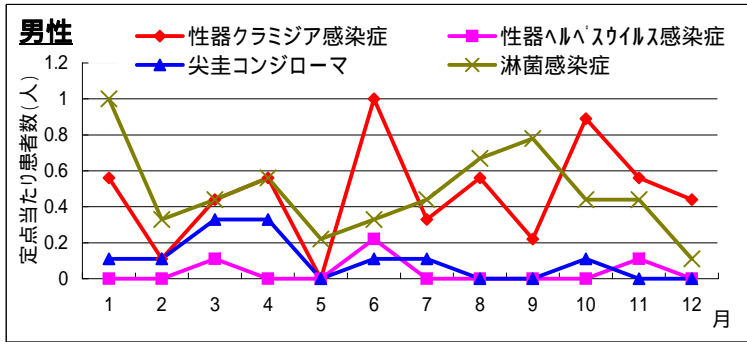
### 3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成18年12月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	17	11	7	7	6	14	6	9	5	15	14	10	121
	定点当たり	1.89	1.22	0.78	0.78	0.67	1.56	0.67	1.00	0.56	1.67	1.56	1.11	1.12
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	0	0	1	1	1	3	1	2	1	0	2	1	13
	定点当たり	0	0	0.11	0.11	0.11	0.33	0.11	0.22	0.11	0	0.22	0.11	0.12
尖圭コンジローマ	罹患数	3	3	6	8	2	5	2	3	2	1	0	0	35
	定点当たり	0.33	0.33	0.67	0.89	0.22	0.56	0.22	0.33	0.22	0.11	0	0	0.32
淋菌感染症	罹患数	9	3	4	6	3	4	4	6	8	5	4	2	58
	定点当たり	1	0.33	0.44	0.67	0.33	0.44	0.44	0.67	0.89	0.56	0.44	0.22	0.54
MRSA感染症	罹患数	38	35	34	45	36	41	47	41	34	31	39	32	453
	定点当たり	5.43	5.00	4.86	6.43	5.14	5.86	6.71	5.86	5.67	4.43	5.57	4.57	5.46
PRSP感染症	罹患数	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	0	5	11
	定点当たり	0	0	0	0	0.29	0.14	0	0.14	0.17	0.14	0	0.71	0.13
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	定点当たり	0	2.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.17

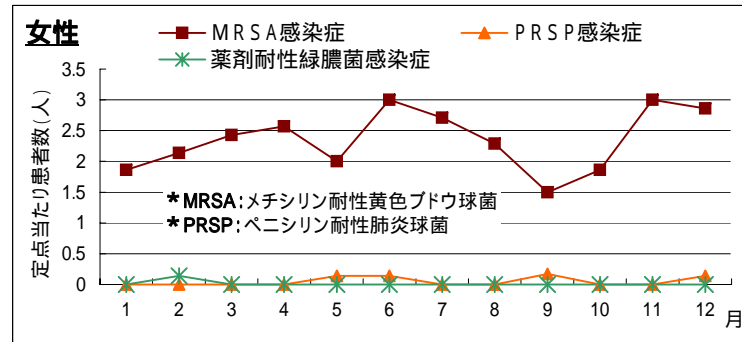
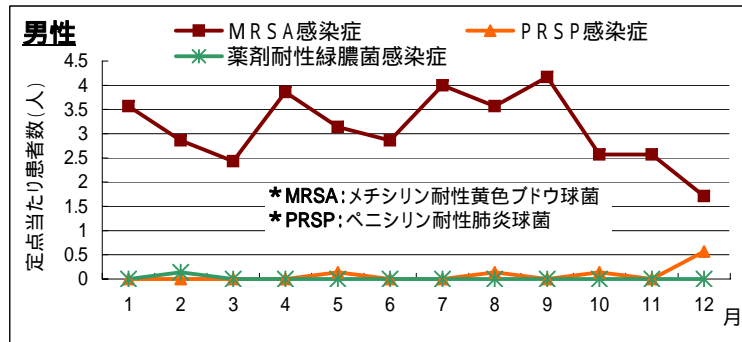


戻る  
 H17 { 滋賀 ●●●●●  
       { 全国 ○○○○○  
 H18 { 滋賀 ●●●●●  
       { 全国 ○○○○○  
 MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

### 性感染症定点における疾患別発生状況 (H18.12)



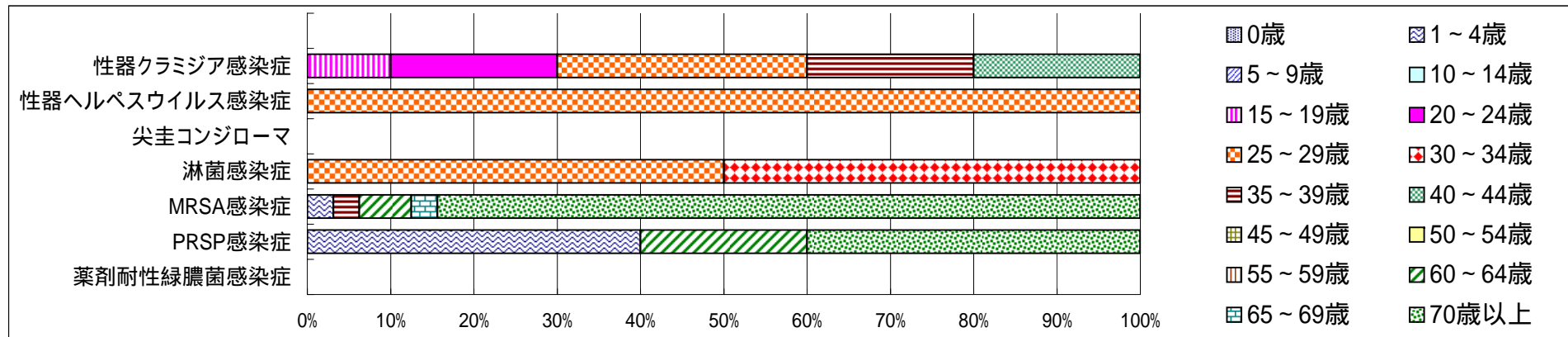
### 基幹定点における疾患別発生状況 (H18.12)



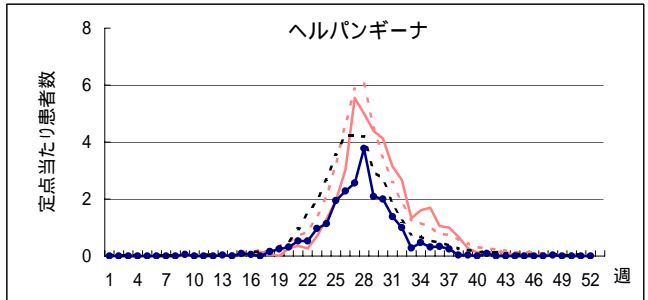
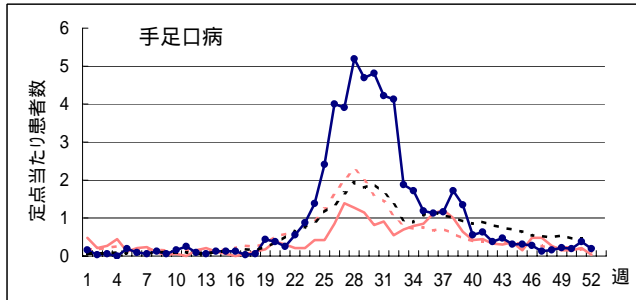
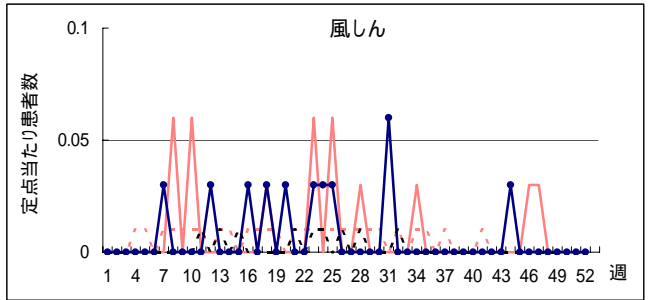
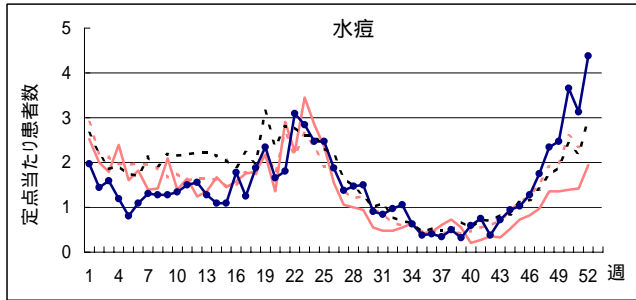
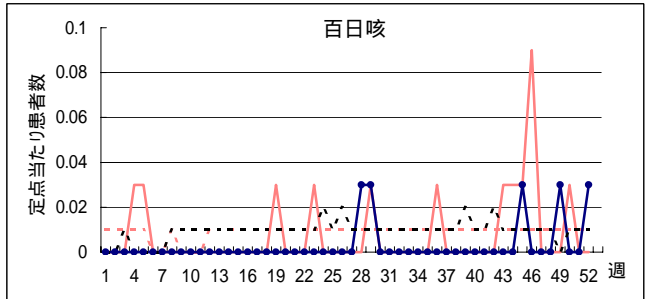
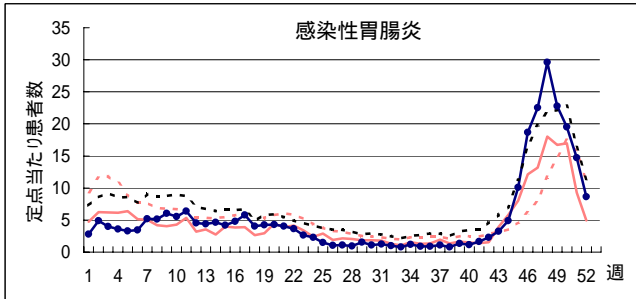
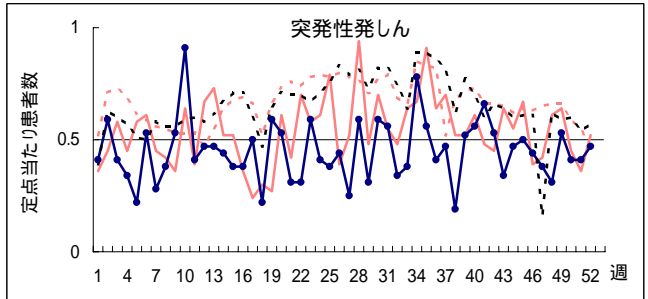
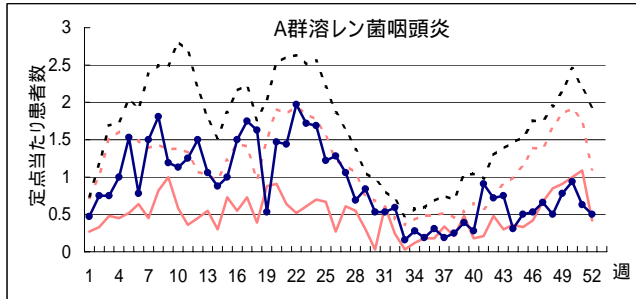
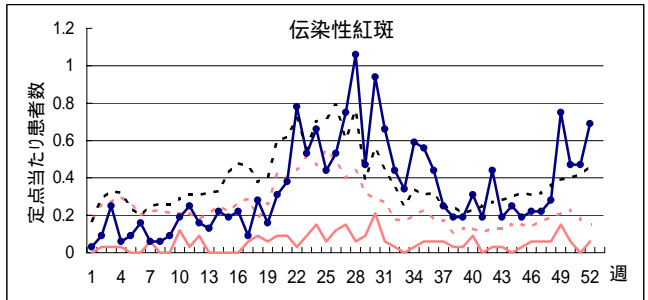
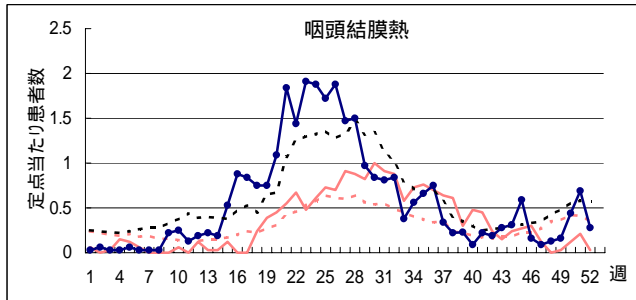
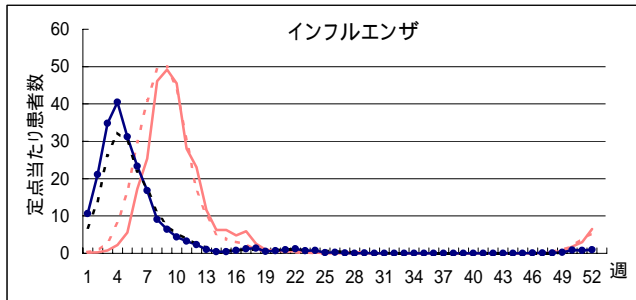
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、PRSP感染症は増加していますが、他の疾患については減少しています。また、薬剤耐性緑膿菌感染症は報告されていません(詳細については性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

また、各疾患の月別・性別発生状況は左記のグラフのとおりです。性器クラミジア感染症は男性、女性ともに先月より減少しています。また、PRSP感染症は男性で先月より増加しています。

### 疾患別・年齢別発生状況 (H18.12)



# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第52週、H18.1.2～H18.12.31)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第52週、H18.1.2～H18.12.31)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 .....

